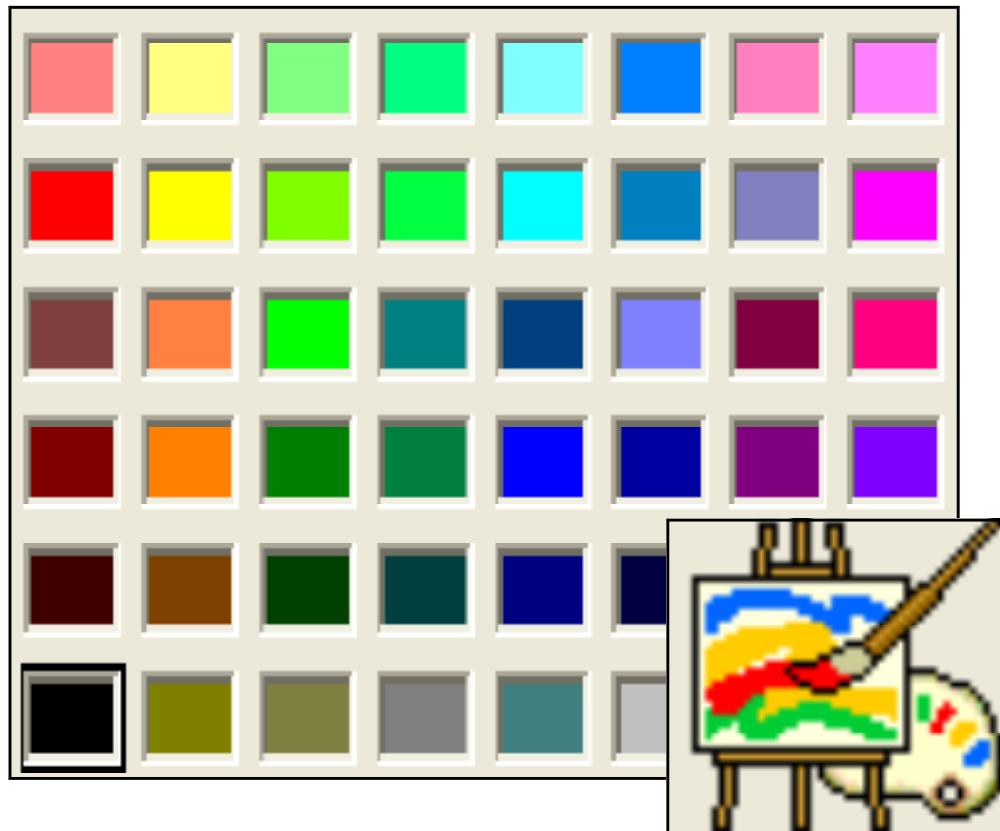


色彩表現における混色の基礎技能を高める指導の工夫
— 色実験の学習活動を通して —

美術科学習指導案

「飛び出す絵文字をつくろう」



沖縄県立総合教育センター後期長期研修員検証授業案
糸満市立潮平中学校
上原 秀樹
2009年1月

美術科學習指導案

日 時：平成21年1月15日（木）5・6校時
場 所：糸満市立潮平中学校美術室
対 象：1年3組 男子21名 女子19名 計40名
授 業 者 上原 秀樹
担当指導主事 瑞慶山 昇

1 題材名 「飛び出す絵文字をつくろう」 デザイン領域

2 題材設定の理由

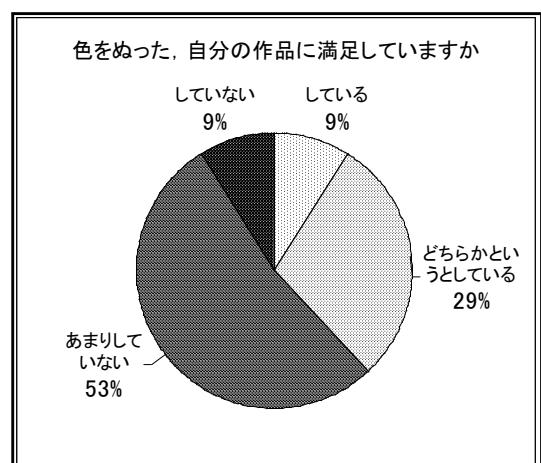
本題材は、日常生活で使用している漢字について、それぞれの漢字のもつ意味や造形的な美しさを感じ取らせ、漢字の中に自分のイメージを加えアレンジし、オリジナルの絵文字を表現する活動を開かせていく。また、絵文字制作を通して「発想する力」や「構成する力」、そして「色彩表現する力」を育んでいきたい。特に制作の着彩段階においては、「色彩表現する力」を支えるための基礎的な絵の具の混色技能について重点的に学習活動を開かせ、その技能を高めさせていきたいと考えている。絵文字について馬場雄二（2006）は、「もともと表意性を備えた漢字は、ヴィジュアルコミュニケーションにおいて優れた視覚伝達力を持つ。」と述べている。つまり、漢字を使った絵文字制作は視覚伝達のデザイン学習を行う上で有効な題材であり、デザインをおもしろく展開できる要素をもつているといえる。

絵文字制作の指導にあたっては、見る人に楽しくおもしろく伝えるためにどんなデザインをすればよいか、しっかりと構想させていく。その意識付けが視覚伝達デザインにおいては重要であると考える。そのために、導入の段階において漢字を絵文字に変形するための基本的な方法や工夫の仕方を学ばせる。また、漢字の特徴を活かし、美しくデザインするための構成・バランスを考えさせ工夫させていく。文字を引き立たせるための配色計画についても、配色カードを活用させたい。また、絵の具を混ぜて色をつくる混色の基礎的な技能を高めるための「色実験」の学習を設定し、混色の理解と基礎技能を高めさせ、絵文字の着彩に活かしていきたい。作品は見る人に期待感をもたせるため、飛び出す絵本を参考に、開くと文字が飛び出してくる仕掛けを取り入れ組み立てていく。

絵文字の作品制作は、文字についての理解、発想・構想の場面、色をつくり出す場面や作品を組み立てる活動など、すべての過程において学習効果の高いバランスのとれた題材だといえる。制作を通して造る喜びや達成感を味わわせることが出来るだろうと考え、本題材を設定した。

3 生徒の実態

生徒は、おおむね美術の授業に対して意欲的に取り組む姿勢をもっており、各題材において積極的に作品を制作している。しかし、色彩表現の場面においての活動を見てみると、表現に独創性がなく特に絵の具を使って色をつくり出す混色については、苦手意識を感じているようである。中には混色することを面倒くさがり、絵の具チューブから直接絵の具を筆にとり着彩する生徒もあり、安易に作品を完成させる傾向が見られる。1年生（111名）に対してのアンケート調査によると、色彩表現に関する「色をぬった、自分の作品に満足していますか？」の質問に対し「あまりしていない・していない」と回答した生徒が62%おり、色彩表現した作品に対して、満足度が低い結果が出ている。しかし「色がたくさんつくれると、作品づくりが楽しくなると思いますか」の質問に対しては、実に87.3%の生徒が「思う・どちらかというと思う」と回答している。生徒は色彩表現の場面において、色がたくさんつくれることは重要であり大切であると、感じている実態が見てとれる。



のことから、色彩表現において混色の技能が不足している生徒に対し、適切な混色指導を行うことは重要である。そうすることで生徒一人一人が表現の幅を広げ、自分らしい作品づくりが出来るのではないかと考える。

4 題材の目標

- (1) 色や形を工夫し、目的に合った絵文字をデザインする。
- (2) 効果的な配色を工夫し、表現の幅を広げた制作活動を行う。

5 題材の評価規準と指導計画

(1) 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・日常生活に必要な文字について考え、文字のデザインの効果や美しさに関心をもつことが出来る。	・文字の特徴を生かして楽しく効果的なデザインを発想することが出来る。	・形や色を工夫し、内容を伝えたり、印象づけたりするための文字をデザインすることが出来る。	・自他の作品のよさを感じ取り、配色や混色の工夫した点に共感しながら鑑賞することが出来る。

(2) 指導計画（全9時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
1	○題材の説明 ○絵文字について ○基本練習 ○文字決定	・文字の成り立ちや美しさを理解させる。 ・絵文字をつくる基本的な方法を2種類紹介し、「羽・競・崩・馬」の文字を使い、発想の練習を行う。 ・絵文字に展開できる文字を3～4個見つけさせ、その中から1つ選ばせる。選んだ生徒は教師のチェックをもらう。 (レタリング辞典の活用)。	【関・意・態】 【発想・構想】	観察 ワークシート 計画表
2	○アイデアスケッチ ○配色計画	・基本的な発想の方法を確認し、アイデアを練らせる。 ・文字として読めるよう、デザインに留意させ、わかりやすい構成を心がけさせる。 ・配色カードを使い、基本的な配色計画を行わせる。	【発想・構想】	アイデアスケッチ
3	○絵文字下書き ・ケント紙に描く	・文字の大きさやバランスを確認させ、丁寧に下書きするよう促す。 ・不要な部分ははさみでていねいに切り取らせる。	【発想・構想】 【技能】	作品
4	○台紙づくり	・絵文字がしっかりと固定できるよう台紙を制作させる。 ・コラージュや着彩等、台紙をデコレーションさせる。	【技能】	作品
5 本 時 ①	○色実験① ○個人で混色活動を行う。	・基礎演習（混色の理解） ・サンプルの色をつくり出すための絵の具の割合を確認させる。 ・混色する絵の具の分量を正確に量らせるよう留意させる。 ・平ぬりの技法で着彩させ、塗りむら	【関・意・態】 【技能】	実験ワークシート 混色カード

		が出来ないよう混色カードに着彩させる。		
6 本時 ②	○色実験② ○グループで混色活動を行う。 ○発表、確認	<ul style="list-style-type: none"> ・応用演習（混色の活用） ・サンプルの色をつくり出すための絵の具の割合を検討させる。 ・グループで話し合い活動を行わせ、数種類の混色カードを着彩させる。 ・混色した色について、グループで発表させる。 ・正解の混色割合を確認する。 ・学習の成果をワークシートにまとめさせる。 	【関・意・態】 【技能】	実験ワークシート 混色カード
7	○彩色①	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な配色を工夫させ、ていねいに着彩させる。 ・5色（赤、青、黄、白、黒）の絵の具を使って、混色させる。 	【発想・構想】 【技能】	作 品
8	○彩色② ○組み立て	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩が終わったら、仕上がりを確認させる。 ・ていねいに組み立てるよう、指示する。 	【発想・構想】 【技能】	作 品
9	○鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動を振り返り、学習活動をもとに総括、評価させる。 ・作品を自己評価、相互評価させる。 	【鑑賞】	鑑賞プリント

6 本時の学習（全9時間中の3・4時間） 検証授業

(1)題材名 「色実験」～混色してみよう～ デザイン領域

(2)題材の目標

- ①絵の具の混色について理解し、工夫しながら色をつくり出す。
- ②「平ぬり」の技法を使い、色をむらなく着彩することが出来る。

(3)授業仮説

色実験の学習過程において、混色を理解させるための「基礎演習」と「応用演習」を取り入れた指導を工夫することで、混色の基礎技能が高まるであろう。

(4)評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・混色について興味を持ち混色割合による色の変化について理解することが出来る。	・絵の具の混色する割合を工夫し、自分の必要な色を予想することが出来る。	・「平ぬり」の技法を身に付けて、むらなく絵の具を着彩することが出来る。	・自他の混色カードについて、混色の工夫した点に共感しながら鑑賞することが出来る。

(5)準備するもの

教 師・・・絵の具（赤・青・黄）、混色カード、ワークシート、混色カード貼付台紙、サンプルカード、のり、色水（黄・青・赤）、プラスチック容器、電卓

生 徒・・・美術資料、平ふで、パレット、筆記用具

(6)授業の展開

	過 程	学習内容	指導上の留意点	◎評価の観点 ◇評価方法
5 校 時	導 入 15分	○色実験の説明。 ○本時のめあて確認。 ○平塗りの技法について。 ○色水を使っての混色	・授業内容について理解させる。 ・美術資料P52確認 ・色水での混色を確認・理解させる。	【関・意・態】 ◎説明をしっかり聞き理解しようとしている。 【関・意・態】 ◇行動観察・発言

5 校 時	展開① (基礎演習) 15分	<p>○基礎演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンプルの色を使っての絵の具の分量と量り方、平塗りの実演。 ・サンプルの「色」提示。 ・混色の基礎技法について学びサンプルの色をつくる。 ・混色カードへの着彩。 ・着彩した混色カードとサンプルの色を照らし合わせる。 ・混色カード貼付台紙に混色カードを貼り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具ボトルの「5滴」を「分量1」として混色することを理解させる。 ・すぐに混色の割合を発表するのではなく、生徒に予想させる時間を設ける。 ・絵の具の分量について留意させ、混色させる。 ・ていねいに平ぬりさせる。 ・同じ色になったことを確認させる。 ・ていねいに貼り付けさせる。 <p>※基礎演習の答え 黄（分量5）+青（分量1）</p>	<p>◎指定された混色割合で色をつくり出している。 ◎平塗りで着彩出来ている。【技能】 ◇混色カード</p>
	展開② (応用演習) 20分	<p>○応用演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の流れ説明。 <p>○実験①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示したサンプルの色をつくるための混色割合を予想し、色をつくる。 ・混色カードへの着彩。 ・着彩した混色カードとサンプルの色を見比べる。班員同士の色も確認する。 ・正解の発表 ・混色カード貼付台紙に混色カードを貼り付ける。 ・副班長は「記録用紙」に結果を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班対抗の実験であることを確認させる。 ・学級全員にサンプルの色が何色と何色で混色されているか確認させる。 ・分量について「ヒント」を与える。 ・絵の具の割合を十分検討させ、混色させる。 ・班のメンバーで相談し、数パターンの色をつくっても全員で統一した色をつくっても良いことを確認させる。 ・ていねいに平塗りさせる。 ・色が出来たら、合図するよう指示する。 ・黒板に注目させ、正解の割合を発表し自分の結果と比較させる。 ・ていねいに貼り付けさせる。 ・ていねいに記入させる。 	<p>◎積極的に話し合い活動に参加し、意見を述べている。 【関・意・態】 ◇行動観察・発言 ◎サンプルの色に近づけようと混色している。 【発想・構想】 ◎平塗りで着彩出来ている。【技能】 ◇混色カード</p>

休憩 (10分間)

6 校 時	展開② (応用演習) 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・5校時から引き続き「色実験②」から「色実験④」まで混色活動を行う。 	<p>※応用演習 実験①の答え 黄（分量7）+赤（分量1） 実験②の答え</p>	<p>◎積極的に話し合い活動に参加し、意見を述べている。【関・意・態】 ◇行動観察・発言</p>
-------------	----------------------	--	--	--

6 校 時	展開② (応用演習)		青（分量5）+赤（分量1） 実験③の答え 青（分量5）+黄（分量2） 実験④の答え 青（分量2）+赤（分量3）	◎サンプルの色に近づけようと混色している。 【発想・構想】 ◎平塗りで着彩出来ている。【技能】 ◇混色カード
	まとめ 30分	○ワークシートのまとめ。 ○記録用紙の集計、平均点数の割りだし。 ○班ごとに発表する。 ○順位発表。 ○教師の話を聞く。 ○次時の活動内容を確認する。	・班長に発表のポイントを伝える。 ・班員を黒板の前に整列させ 混色貼付台紙を披露させる ・しっかりと発表させる。 ・黒板に注目させ、結果を発表する。 ・本時のめあての再確認。 ・飛び出す絵文字の着彩は赤 青・黄・白・黒の5色で行うことを伝える。	◎結果をしっかりと発表することが出来る。 ◎学習のまとめと感想が書いている。 【鑑賞】 ◇ワークシート

(7)評価

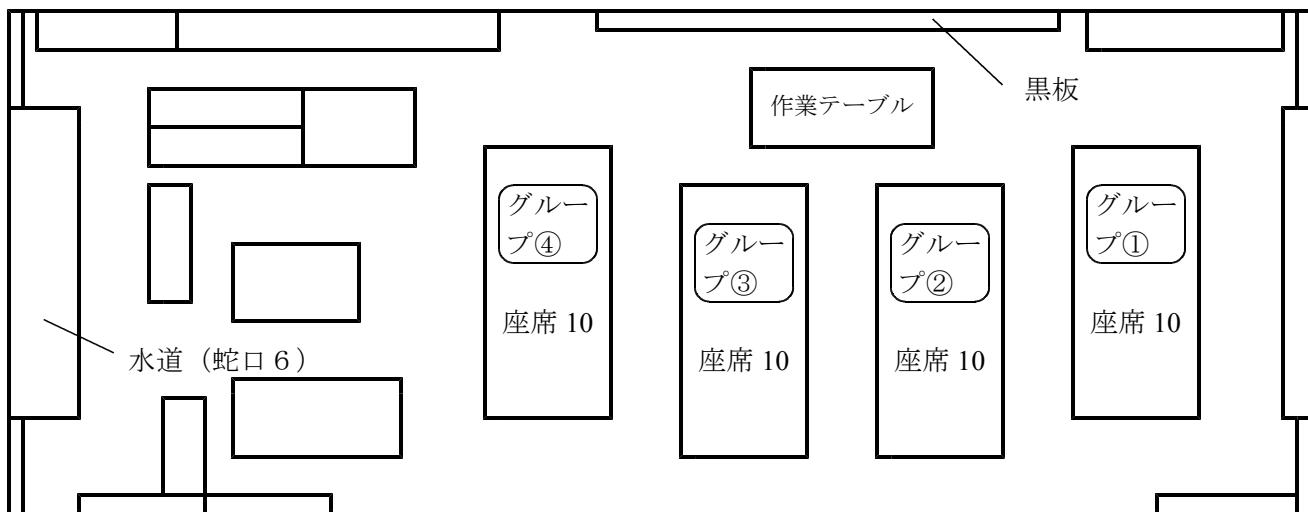
- ①混色を理解し、サンプルの色をつくり出すことができたか。
- ②平ぬりの技法で、着彩することができたか。
- ③学習の結果をワークシートにまとめることができたか。

6 板書計画 (上下2段黒板)

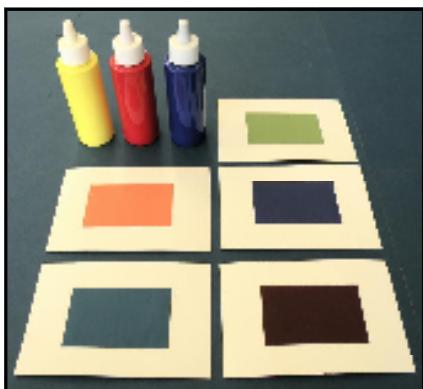
<p>○「色実験」～混色してみよう～</p> <p>○本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>①絵の具の混色について理解し、工夫しながら色をつくり出す。</p> <p>②「平ぬり」の技法を使い、色をむらなく着彩することができる。</p> </div> <p>○平ぬりの技法について(美術資料P52)</p> <p>○混色とは？</p>	<p>○基礎演習</p> <p>混色の基礎と平ぬりの技法をマスターしよう！</p> <p>○応用演習</p> <p>絵の具の分量(割合)を予想し、混色・着彩しよう！</p> <p>○絵の具はボトル「5滴」で「分量1」となります！</p>
---	--

<p>○各班の結果発表！</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">班名</th> <th style="text-align: center;">平均点</th> <th style="text-align: center;">順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">T H D J G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SAUZAA</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ジョイキッス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">崖っぷちのポニュ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			班名	平均点	順位	T H D J G			SAUZAA			ジョイキッス			崖っぷちのポニュ			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 基礎演習 サンプル色 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 応用演習 実験①サンプル </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 応用演習 実験②サンプル </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 応用演習 実験③サンプル </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 応用演習 実験④サンプル </div>
班名	平均点	順位																
T H D J G																		
SAUZAA																		
ジョイキッス																		
崖っぷちのポニュ																		

7 美術室座席配置計画



8 「色実験」教材・教具写真



サンプルカード(5色)生徒用



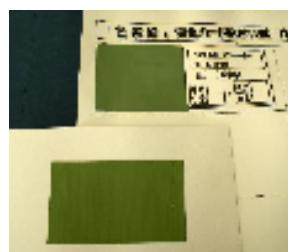
パレット・筆・絵の具・サンプルカード



サンプルカード(黒板用)



色実験セット(赤青黄・のり・混色カード・サンプル)×12セット



サンプルとの比較写真



サンプルカード(5色)×12 計60枚

色水(赤・青・黄)・透明容器